

**授業改善プラン 小学校 第6学年 国語**

条件作文を書く活動を通して、自分の考えが伝わるように書く力を育成する。

**指導について**

- ・ 調査問題概要／市正答率  
『複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く』問題／B②三 市正答率 20.1%
- ・ 課題  
目的や意図に応じて、複数の内容を関係付けながら、自分の考えを具体的に書く力が十分に身に付いていない。
- ・ 指導の手立て  
例文を視写したり文の書き方の練習問題を行ったりすることで、文章表現の基礎的能力を育成したい。  
条件に応じて文を書く学習課題を取り上げ、資料から引用して文を書く活動を通して、「自分の考えたことを伝わるように書く力」を育成したい。

**【教材名 書く「資料を活用して書こう」】**

**【指導計画と評価】**

次	時	指導計画	指導の手立てと留意点 / ☆評価 【使用する資料等】
1	1	○『内田さんの文章』（教科書 P98～99）の文例を構成表に表すことを通して、資料 1・2 が、文章のどこで、どのような役割をもって活用されているかを読み取る。	・資料の活用箇所を探し出し、3本の柱（「課題点」「影響」「解決」）にそって分類し、資料が使われた目的をとらえられるようにする。【手作りワークシート①】
2	1	○文例を手がかりに、「ごみを捨てないようによびかける文章を書く」ための課題をとらえる。 ○資料（教科書 P101）を読み取る。	・題やキャプションに目を向けて、書かれている内容を大まかにとらえることで、資料の種類に応じて分かることを考えられるようにしたい。【教科書ワークシート①】
	2	○文章を書くために必要な資料を選ぶ。 ○資料から読み取った内容をメモに書き出す。	・資料を2つ選び、3本の柱のうち「どこで生かすか」「どのように生かすか」を考えてメモを書くように助言する。【教科書ワークシート②】 ☆適切な資料を選び、読み取ったことや文章に書く内容をメモに整理することができたか。（書くこと/教科書ワークシート②）
	3	○ごみを捨てないようによびかける文章を書く。（条件：資料2つを使い、事実と感想や意見を区別して書く。字数400字～800字） ○自分の書いた文章を読み返す。	・メモをもとに段落の組み立てや書き出し、文末表現などにも気をつけて、よびかけの文章を書けるようにしたい。【手作りワークシート②】 ☆資料を効果的に活用して、よびかけの文章を書くことができたか。（書くこと/作文）
3	1	○書いた文章を交換して読み合う。 ○読み合って見つけた資料の読み取り方や生かし方を出し合う。 ○資料の読み取り方や生かし方についてまとめる。	・文章を読み合い、よかったところや工夫しているところをワークシートにまとめ、資料の読み取り方や活用の仕方について互いに助言し合えるようにしたい。